

点検・評価の結果

政府統計コード	00500201
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	農業経営統計調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(「食料・農業・農村基本計画」の農業構造の展望の推計の参考資料として利用等)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div><div><div><input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※</div><div><input type="checkbox"/> 3.報告者数等※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査</div></div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div></div><div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div>
-----------------------------	---

一部不整合あり

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
3. 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等※	<input type="checkbox"/> 母集団情報 全数層・抽出層の設定	<input type="checkbox"/> 抽出方法・抽出基準 対象数の算定	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し	対応中/対応予定	母集団情報を更新する令和9年体系に向けて、生産動向を的確に把握しつつ、これまでの客体選定や利活用の状況も考慮して標本設計の見直しについて検討する。
	<input type="checkbox"/> その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 一部の営農類型や品目において、調査を依頼したものの、調査協力の承諾を得ることができなかった等により、調査計画上の報告者数と調査対象経営体数に差が生じている。		<input type="checkbox"/> その他		

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<div><input checked="" type="checkbox"/> 課題なし</div> <div><input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</div> <div><input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</div>
---	--

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	<div><div>○</div><div>達成精度</div></div> <div><div></div><div>回収率・回答率</div></div> <div><div></div><div>回収調査票数</div></div> <div><div></div><div>カバレッジ</div></div> <div><div></div><div>その他</div></div> <div><div></div><div>設定なし</div></div>	別紙1のとおり	今回調査の指標は令和4年体系 (麦類及びなたね生産費調査は令和元年体系)	別紙1のとおり	別紙1のとおり	別紙1のとおり

農業経営統計調査（営農類型別経営統計）目標精度及び達成精度（実績精度）一覧

単位：％

区分			目標精度		達成精度（実績精度）		
			令和４年体系 ①	令和元年体系 ②	今回調査 （令和４年） ①	前回調査 （令和３年） ②	前々回調査 （令和２年） ②
個人経営	水田作	全国	2.0		1.9		
		北海道		3.0		3.6	3.2
		都府県		2.0		3.2	2.5
	畑作	北海道	3.0	2.5	2.6	2.8	2.4
		都府県	3.0	3.5	3.6	3.8	3.9
	露地野菜作		3.0	2.5	3.5	2.9	3.3
	施設野菜作		3.0	3.0	3.1	3.5	3.4
	果樹作		3.0	3.5	3.9	5.1	4.1
	露地花き作		8.0	8.0	8.6	10.5	10.0
	施設花き作		8.0	8.0	5.8	8.0	7.5
	酪農	全国	3.0		3.1		
		北海道		3.0		3.5	3.1
		都府県		2.0		2.1	2.2
	繁殖牛		3.0	4.0	3.7	5.6	6.5
	肥育牛		4.0	4.0	3.6	4.1	6.9
	養豚		4.0	3.5	3.5	3.3	4.4
	採卵養鶏		8.0	8.0	15.2	9.7	6.1
	ブロイラー養鶏		8.0	8.0	5.0	4.2	3.9
	その他			8.0		11.9	11.1
法人経営	水田作	集落営農	4.0	4.0	3.3	3.4	3.0
		集落営農以外	4.0	4.0	4.4	6.5	6.2
	畑作	北海道	10.0	10.0	4.4	7.8	7.3
		都府県	10.0	10.0	11.4	10.3	12.7
	露地野菜作		10.0	10.0	7.2	6.1	6.4
	施設野菜作		10.0	10.0	12.6	8.7	8.2
	果樹作		10.0	10.0	9.2	11.9	12.5
	露地花き作		10.0	10.0	21.2	23.0	19.5
	施設花き作		10.0	10.0	14.4	10.9	10.0
	酪農		10.0	10.0	6.1	5.6	15.3
	繁殖牛		10.0	10.0	10.9	13.4	14.6
	肥育牛		10.0	10.0	6.1	7.4	7.2
	養豚		10.0	10.0	5.9	6.0	13.7
	採卵養鶏		10.0	10.0	5.4	19.8	19.1
	ブロイラー養鶏		10.0	10.0	5.2	8.9	4.7
	その他			10.0		18.4	16.1

注１：農業粗収益を指標として目標精度を設定

注２：今回調査は、令和４年体系の目標精度を目安としている。前回及び前々回調査は、令和元年体系の目標精度を目安としている。

農業経営統計調査（農畜産物生産費統計）目標精度及び達成精度（実績精度）一覧

単位：％

区分				計算単位数量	目標精度		達成精度（実績精度）		
					令和４年体系①	令和元年体系②	今回調査（令和４年（産））①	前回調査（令和３年（産））②	前々回調査（令和２年（産））②
農産物生産費	個別経営体	米	北海道	60kg	2.0	2.0	1.1	1.8	2.3
			都府県	60kg	1.5	2.0	1.1	1.4	1.5
		小麦	北海道	60kg	3.0	3.0	3.2	2.9	2.7
			都府県	60kg	2.5	2.5	1.9	2.0	2.2
		二条大麦		50kg	4.0	5.0	3.9	4.4	4.2
		六条大麦		50kg	5.0	5.0	8.9	7.3	6.2
		はだか麦		60kg	4.0	5.0	7.6	6.1	6.1
		そば		45kg	5.5	5.0	6.2	6.6	5.0
		大豆	北海道	60kg	4.0	4.0	3.3	4.2	3.4
			都府県	60kg	3.5	3.0	3.1	2.7	2.9
		原料用かんしょ		100kg	3.5	3.0	5.4	4.4	3.8
		原料用ばれいしょ		100kg	2.0	2.0	2.0	2.6	2.4
		なたね		60kg	7.0	7.0	6.6	6.5	7.3
		てんさい		1 t	2.5	2.0	2.3	2.3	2.1
		さとうきび		1 t	3.0	3.0	2.9	3.2	3.2
	組織法人経営体	米		60kg	3.0	3.0	2.2	2.9	2.5
		小麦		60kg	3.0	3.0	4.0	4.2	5.8
		大豆		60kg	3.0	3.0	3.7	4.0	4.5
畜産物生産費	個別経営体	牛乳	北海道	生乳 100kg	1.0	1.0	1.1	1.0	1.1
			都府県		2.0	2.0	1.7	1.7	1.7
		子牛		1 頭	2.0	2.0	2.1	1.8	1.9
		乳用雄育成牛		1 頭	3.0	3.0	3.9	4.8	3.9
		交雑種育成牛		1 頭	3.0	3.0	2.2	2.7	3.6
		去勢若齢肥育牛		1 頭	1.0	2.0	0.6	0.8	0.7
		乳用雄肥育牛		1 頭	2.0	2.0	1.8	1.4	1.1
		交雑種肥育牛		1 頭	2.0	2.0	2.9	3.4	4.3
		肥育豚		1 頭	2.0	2.0	1.8	1.6	2.1

注１：計算単位当たり全算入生産費の標準誤差  
注２：達成精度（実績精度）は、集計対象経営体による実績精度

※集計対象経営体：選定できなかった経営体及び調査期間中に調査不能となった調査対象経営体を除いた経営体（農産物生産費の場合、選定できなかった経営体及び調査期間中に調査不能となった調査対象経営体の他、収穫皆無の経営体、非販売経営体（米については販売量が玄米600kg未満の経営体、麦類、そば及びなたねについては販売量が計算単位数量未満の経営体、それ以外の経営体は販売がなかった経営体）、過去５年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた３年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体をいう）

注３：今回調査は、令和４年体系の目標精度を目安としている。前回及び前々回調査は、令和元年体系の目標精度を目安としている。  
注４：麦類（小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦）及びなたねは、全て令和元年体系の目標精度を目安としている。